

名寄市に暮らす外国人

～YOUは何しに名寄市へ？～

育った環境や文化はちがえど、おなじまちで共に暮らす市民です



共に働く・共に生きる

約160人の外国籍の方々が暮らす名寄市。日本では都心、地方にかかるわらず多くの外国人が、働くため、勉強のため、家族と暮らすためなど、さまざまな目的で来日しています。彼らが日本に滞在するためには「在留資格」が必要で、その資格は現在29種類に分類されています。

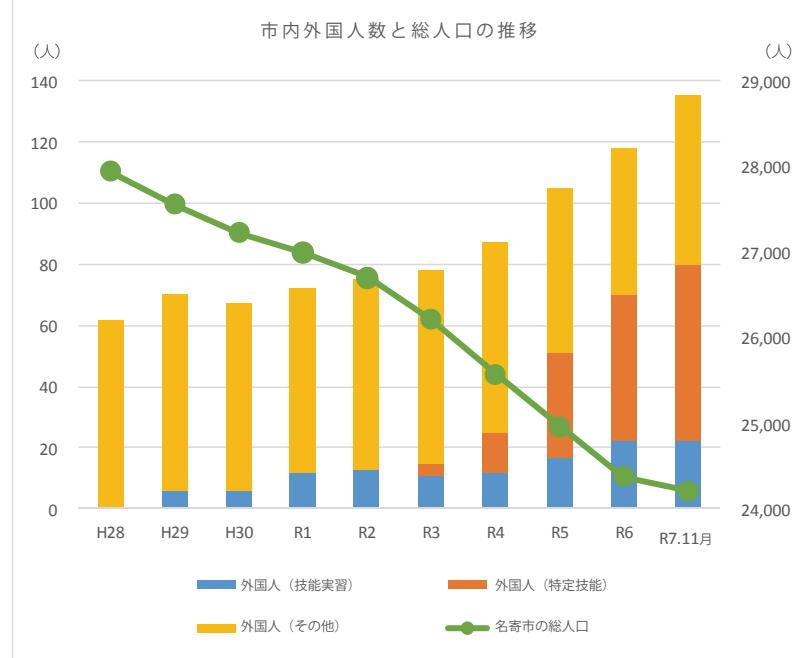
人材不足は日本だけでなく世界的な問題であり、人材の獲得競争が世界中で起こる今、名寄市でも人材不足は例外ではなく、「外国人材」の導入が進み、最近各地で増加しているのが「特定技能」・「技能実習」という資格の方々で、さまざまな分野で地域の一員となつて活躍しています。

では、彼らはなぜ名寄市を選び、どのような目的で名寄市に来たのでしょうか。以前から暮らしている住民にとって、外部から多くの人がやってくるのは不安なのですが、彼らもまた不安を抱えています。お互いに市民、不安解消のためにまずはお互いを知ることが大切です。異文化理解・多文化共生の第一歩を踏み出しましょう。彼らの想いや考え方を知ることから始めてみませんか。

外国人労働者と企業の声

五十嵐運輸株式会社の整備部で働く外国人2人と担当者の方にお話を聞いてみました。

市内外国人・総人口の推移



市内人口が急激に減少する一方で、外国人人口は増え続けています（グラフは農業など短期で滞在する人をおおむね除く）。

平成29年度から少しづつ「技能実習」で名寄市に在留する外国人が増え始めました。令和元年に在留資格「特定技能」の取得が可能になると、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてからは名寄市でもだんだんと「特定技能」での在留が増え始め、現在では「特定技能」が外国人在留者の約半数を占めるようになっています。名寄市内の「特定技能」は「介護」を中心に多岐にわたり、人口減少に歯止めがかかるない名寄市も働き手不足は問題で、外国人材の働き手は欠かせない存在です。

会社では車の点検や車検、修理などをしています。仕事で難しいことはあまりないけど、仕事を日本語で説明するのが難しいので、ジェスチャーを使います。名寄市で食べておいしかった食べ物は、職場の人が連れて行ってくれた焼肉です。休みの日はハンガさんと車で道の駅巡りをします。1/3くらいは回りました。名寄市で好きな場所は「会社」です。お給料をもらってる場所だから(笑)。未来のことはわからないけど、名寄市で働いてみたいと思っています。

ジュン・フヤムさん フィリピン出身 在住歴2年半



私も名寄市に来て2年半になります。仕事内容もジュンさんといっしょです。フィリピンの日本語学校でジュンさんと知り合いました。会社の人はみんな優しいです。困ったら助けてくれます。好きな食べ物はラーメンで、特にサンピラーのしょくゆラーメンが好き。冬は休みの日にスキーに行きます。名寄市に来てからスキーを始めました。毎年シーズン券を買います。スキーを滑ってからラーメンを食べて帰るのが最高です！名寄にはあと10～20年くらいはいたいと思っています！

ハンガ・フランシスさん フィリピン出身 在住歴2年半



二人とも勉強熱心。始めはほとんど知識がなかったのに、今ではみんなと同じように働いてくれて、とても助かっています。2人には会社で提供している職場近くの家に2人で住んでもらっています。外国人の雇用は主に人材不足に対応するためでしたが、社員が2人に負けないようにと切磋琢磨したり、社員間で進んでコミュニケーションを取ったりと、いい影響を与えてくれる存在です。まだ人材不足があるので、外国人材を新規で採用することも考えています。多様性を認められる、環境の良い職場としてPRできれば、自然と人材も集まってくれるかもしれません。

木林 峻也さん 五十嵐運輸株式会社 整備部工場長



清 峰園で働くタバ・プリティさん（右）とシェルパ・ラクパ

さん（中）、それから2人が住む14区町内会の役員である川崎かおるさん（左）に話を聞いてみました。



初めて会ったのは？

川崎（以下「川」）：それぞれの歓迎会。

以降「夏祭り」・「クリスマス・忘年会」・「新年会」の3大イベントのほか女性部の集まりも毎回声をかけています。

シェルパ（以下「シ」）：イベントに参加すると毎回楽しい。初めて「温泉」に参加した時はみんな裸でびっくり。ネパールは温泉の文化がないから。

プリティ（以下「プ」）：私はまだ温泉に参加していない。恥ずかしくて行けないかもしない…

川：温泉は入らなくても、いつしょにご飯を食べて帰るだけでもいいよと呼びかけしたりもしています。

お互いの印象は？

川：素直でいい子たち。日本語も上手で、一番最初にごみの出し方を教えたときも最初からできていましたね。

シ：まちがってたら隣の人に「ちょっと！まちがってるよ！」って言われる（笑）。

自然に明るく

話せる隣人――

印象的な出来事は？

シ：ネパールの話をよくする。ネパールには海がないからなま物は食べないし「魚介」がわからないと言うとみんなびっくりする。

川：歓迎会や忘年会などでオードブルを頼んだとき、初めて見た料理全てに「これはなに？これは？これは？」と聞いてきたのがとても印象的でした。

プ：私が住んでいた地域は雪が降らないから雪は初めて。まだ楽しい。

シ：初めて雪を見たときはみんなで雪だるまを作った。

プ：私ももつとたくさん雪が降つたら大きい雪だるまを作りたいです！

川：シェルパが来て3年近く経つのに、この子たちの国の料理を食べたことがなくて。だから、先日ネパールカレー2種類とモモ（餃子に似たネパール料理）をみんなで作って試食会をしました。町内会員20人ほども参加し、みんなでモモを包んで。すごくおいしかったんです。

シ：みんなおいしいと言つてくれました。

これからのこと

町内会活動や

ご近所づきあいなど、すっかり日本の文化にもなじんでいるようですね。自然と、お互いに歩み寄りながら生活している様子が伝わってきます。

と思ったから介護の仕事を選んだ。私は日本で特定技能が終わったらネパールに帰ろうと思う。

川：町内会としてはこの子たちが来て、「会員」が増えたな、という認識。役員は少なくとも「外国人」という偏見はないと思います。ただ、回覧板を回してもわからないから、直接声をかけたりはしていますね。

シ：近くに住んでいる人と道で会って、「いつしょにお茶しましょう！」って言つてそのままお茶しにおうちに遊びに行つたこともあります。

川：知らないうちに溶け込んでいて、なじんでいるんですよ（笑）。町内会の集まりの中でも、こどもたちからも人気で、周りに集まっていることも多いし、とてもなかよし。これからもお誘いして、来れるときに参加してもらいたいですね。



「にほんご」を学ぶ

名寄市では、市内で暮らす外国人が集まり日本語を学ぶ「日本語教室」や、「ほんごひろば」などを実施しています。

【日本語教室】

日本語の読み書きや正しい使い方などを学びます。在留資格「特定技能」では一定の日本語能力が求められるた

め、日本語能力試験（N3）の合格を目指した学習も行っています。

【にほんごひろば】

名寄市に暮らす外国人や市民との交流を通じて、生活に必要な日本語を楽しく学びます。これまで、「百人一首」や「カーリング体験」などを通して、市民との交流や日本語を使う練習を行ってきました。

こうした取組は、日本語能力を身につけることに加え、名寄市の文化や生活環境に慣れ、安心して暮らせるようになることも目的としています。また、外国人が地域の中で孤立することを防ぐ役割も果たしています。

お互いに歩み寄り、少しずつ不安を取り除いていくことが、だれもが過ごしやすいまちづくりにつながります。



にほんごひろばに参加してみませんか？

1月18日



9時30分から駅前交流プラザ「よろーな」で日本の芸術文化（墨絵・ちぎり絵）にふれる体験をします。外国語が話せなくともOK！ 参加お待ちしています！

問 交流推進課（名
3315）

桜井 千代子

これからよろしく
おねがいします



12月から「日本語教室」の講師に地域おこし協力隊として着任しました。

参加したみなさんが楽しく日本語を学べるように努めます！

新しい日本語教師です！